

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年9月7日(土) 午前10時～11時30分
場 所 福岡中央一丁目集会所（福岡中央一丁目町内会）
参加者 27人



主な意見等

参加者 市民プールの設置についてです。今後もふじみ野市は計画を進めないのでしょうか。夏が近づくと、プールは子どもたちにとって楽しいレジャーの一つとなります。ふじみ野市は誕生から20周年を迎えますが、これから30周年、40周年と続いてまいります。ですから、いつかその計画を検討していただくことを望みます。過去にふじみ野市のプールで痛ましい事故がありましたが、その反省を生かし安全管理を最優先に考えつつ、前に進むべきだと思います。現状、ふじみ野市から川越水上公園プールまでは遠く、チケットが当たるチャンスも少ないです。そのため、近隣にプールが設けてあると喜ばれるのではないのでしょうか。そういった考えが一つの意見となります。

次に、駅前駐輪場の拡充についてもご検討をお願いします。現在、調整中のために半分のスペースでしか駐輪を行えない状況です。その他にも、故障している立体駐輪場の修理、拡充についても要望が出ています。

市長 プールの設置は不可能ではないですが、非常に大きな費用と維持費が必要となります。例えば、皆さんが生活を営む上で、何千万円もする高額な車を購入し、維持することが本当に生活に必要なかどうかを検討するように、私どもも同様に考えています。県内はもちろん、各自

治体も新たにプールを建設しようと考えるところはほとんどありません。市民生活におけるプールの必要性の優先順位は低いのではないかと考えています。

少し話は変わりますが、近年、学校給食の無償化についての声が高まっています。給食費の無償化を実施している自治体は、無償化の実現のためにこれまで行っていた市民サービスの何を削減するかを検討し、その上で実施しているところもあります。もしふじみ野市が給食費の無償化を行うとなると、一年間で約5億円が必要となります。中学生の給食費が5,100円、小学生が4,300円ですが、物価が上昇する中でもこれらの給食費を変わらない金額で維持できているのは市の公費（皆様の税金）によるものです。数千万円から数億円の公費を投入している現状ですので、実際の食材費は各ご家庭から負担いただいております。食育の観点からも、「給食はお金をかけずに市から提供されるもの」ではなく、「お父さん、お母さんが一生懸命働いて給食費を納め、給食センターの方々が一生懸命作ってくれているものだ」と理解していただくほうが好ましいと考えます。

学校給食と同様に、プールの建設にも財政的な余力が必要であり、今後過渡期となるふじみ野市の未来を見据える必要があります。市を維持していくためには、子育て世代の方々が新たに住んでいただくようにする必要があります。さらに、高齢者の方々を支えるための市としての体力も同時につけていく必要があります。これらのバランスが、これからの市の対応となると考えています。

現在、学校のプールの使用はすごく少なくなってきております。それに対して、メンテナンス費などの維持費がかかるのです。そのため、民間のプールなどを活用して授業を行っております。しかし、必要がないからとすべての学校プールを解体してしまうと、民間施設が何らかの理由で経営が困難になった場合などに対応できないため、リスク分散の観点から、市内の一部のプールは残しつつ、最終的にはすべての学校プールを廃止したいと考えています。

私が新たに作りたいと考えている施設は、屋外のレジャープールよりも、一年中利用できる室内型のプールです。運用は民間に委託し、利用者の年齢層は子供だけでなく、健康目的のシルバー世代の方々も含むようにします。さらに、早朝や夜間など、さまざまな時間帯で利用できるようにしたいと考えています。これが私が思い描く新たなプ

ール施設のビジョンです。

レジャープールの建設は期待されていると思いますが、もう少しお待ちいただく必要があるかと考えています。

駐輪場の拡充についても考えており、現在故障している箇所については修理していきたいと思います。また、新型コロナウイルスの影響で勤務形態が変化しているという現状があります。東武鉄道から話を伺うと、コロナがかなり改善した今でも鉄道の利用率はコロナ前には戻っていないとのことでした。

そのため、駐輪場の利用も減っており、民間の維持が困難になっている状況がございます。公設の駐輪場が少し安くて利便性があることは理解していますが、これまで民間でも運営していただいていた事業を圧迫しないよう、そのバランスを考慮しながら改善を進めてまいりたいと考えています。

参加者 市長への意見提供が若い世代からも届いております。具体的には、帯状疱疹のワクチンに関する問題です。ある夫婦がワクチン接種を受けた際、高額となる8万8千円の接種費用が請求されたという事例を聞いております。市側でも少しでも補助金を提供できたら、との提案が寄せられております。

市長 帯状疱疹については、近年、発症する方が多いと認識しています。発症には個人差がある一方、重症の方は発症期間が長引き、非常に苦しむと聞いています。それに対して、ワクチンを接種することで症状の抑制が可能と言われております。

東入間医師会の先生方からもワクチンの補助を行うべきではないかという意見が出ており、これについて検討中です。ただし、医療については2市1町で進めておりますので、富士見市や三芳町と歩調を合わせて協議する必要があります。東京都の例を見ると、都が一定程度の補助を行い、その上で23区や特別区、市町村が補助を行って市民の負担を軽減しているようです。私も市町村レベルだけでなく、埼玉県も尽力していただき、県とともに皆様への補助を可能にする形にするのが望ましいと考えています。この点については、既に埼玉県へ要望を出しているところです。

参加者 子どもたちが遊べるように、砂場の砂が固くなっていて量も少ないので、何とか改善していただきたいです。

市長 公園担当の職員と話をし、これまでの経緯を踏まえて何らかの対応策を検討し、調整を進めていきたいと考えています。

参加者 私からは2点について要望をお伝えしたいと思います。

1点目は、中央公園に関連する問題です。大雨が降ると、道路に水が流れ込み、公園からの土砂も一緒に排水溝を塞いでしまいます。結果として、道路側に大量の水が溜まってしまい、特に大型車が通行する際には通行が困難なほどの水が飛んでしまいます。公園から流れる雨水が道路側に流れ込むことを防ぐような工夫や対策を検討し、雨の日の通行の支障の解消についてご考慮いただきたいと思います。

2点目の要望は、健康遊具の設置についてです。かつては公園に健康遊具が設置されておりましたが、近年ではその姿を見かけません。地域住民の健康増進や、より幅広い年齢層が楽しめる公園作りの一環として、再び健康遊具の設置を検討いただければと思います。よろしく願いいたします。

市長 プール事故を受けて、公共施設の安全点検週間を設けて実施しています。その際、老朽化して危険と判断されたものについては撤去や修繕を行いました。これが原因で健康遊具が減っている可能性も考えられます。確かに、子どもから高齢者まで利用できる健康遊具の増設は、健康づくりの観点から検討すべき事項だと理解しています。ただし、安全思考の高まりから遊具等の安全範囲が以前よりも広がっており、狭い公園では設置が困難な状況になっているという現実もご理解いただきたいと思います。

また、福岡中央公園の雨天時の問題については抜本的な改善が難しいかもしれませんが、一定の改善を図ることを目指しています。貴重な指摘ありがとうございました。

参加者 この集会所の入口にはAEDを設置することを検討していただきたいです。最近の新築マンションには必ず設置されていますし、市民の多くが集まる公園の近くにあると助けになると思います。特に高齢者

達の健康志向が高まり、身体を動かす機会が増えている現状を考えると、万が一の事態に備えて AED があることは大変重要だと考えます。

使用方法についても消防関係者などの専門家をお招きし、町内会のイベントなどで訓練を交えて学べる機会があれば理想的だと思います。良い街づくりの一環として、ぜひ検討していただけますと幸いです。

市長 AED の設置については、医療機関や民間企業との協力を得て推進する必要があります。行政として、集会所や公共施設など、設置が容易な場所に重点を置き、市内に一定の数を増やすよう検討することが望ましいと考えます。

参加者 前年度にも要望した点ですが、市から自治会への文書について、郵送ではなく PDF で送信頂くことを希望します。郵送は時間がかかり、PDF ならばメールでの文書共有が可能となるため、非常に便利です。対応窓口を一つにまとめることで、統一した対応ができると考えます。また、自治会のホームページの統一化もお願いします。現状では、各自治会がそれぞれ独自のホームページを作成している状況です。可能であれば、市がサーバーなどを管理し、統一的なホームページを作成できると良いと思います。コストの問題もあると思いますが、ご検討ください。

次に、文化財の保管や PR について検討された際に出た意見ですが、市の HP や公式 YouTube で、市が管理する文化財に関する共有ページの設置をご検討いただければと思います。

最後に、学校の児童が教室に行けない問題について、対策を練っていただきたいです。私は現在、福岡小学校で学校運営委員を務めており、不登校から学校には来るようになったものの、教室に行きたがらない子供たちへの対応に苦慮しております。教員だけでは対応しきれないケースが増えてきており、何とか教員以外の支援員を確保いただきたいと思っています。

市長 PDF 形式による送付については自治会によって ICT への理解度に差があるとはいえ、市としても郵送料の負担がありますので、メールで PDF を送付する方がいろいろメリットがあると考えています。積

極的に対応していきたいと思います。

サーバーに関しては、連合会と協調しながら進めていきたいと思
います。

ホームページや YouTube については、市の公式ホームページで各
YouTube チャンネルを一元的に紹介する形であれば対応可能と考え
ています。

不登校については全ての学校が悩んでおりますが、ふじみ野市は近
隣の自治体と比較して、対応する支援員の配置はトップクラスの状態
です。現状、学校によっては教頭先生がつきっきりの状況もあるよう
です。これが適切な状態なのかについては検討していく必要がござい
ます。不登校の児童に対しては希望が持てるような環境を提供したい
と考えています。しかし、それだけに対応を集中させてしまうと、教
員の他の職務に影響が出てしまうという難しいジレンマがあります。
私自身、全ての学校の全教室や特別支援学級を含む各班訪問時には特
に、指導員の皆様から児童の状況を伺いながら訪問させていただいて
います。教育委員会もこの現状に対して何とかしたいと思っておいま
すので、皆様のご心配に対して深く感謝いたします。このような意見
も教育委員会に伝え、改善に向けた努力を続けたいと思います。

【追加質問】

参加者 町内会地域の防犯パトローをしている。管理が市なのか商店街なの
か判らないが、中央通りの街灯が消えている箇所が多いのでなんとか
ならないか。

回 答 現地確認を実施した結果、商店街管理の街路灯でした。

商店街が所有する街路灯につきましては、段階的に修繕していく旨
を伺っております。（令和6年度は既に補助金を活用し、4基6灯の
修繕を進めています。）

なお、自治組織が所有・管理している LED 防犯灯につきましては、
電気料を自治組織維持管理費補助金として対象としているほか、防犯
灯の修繕に係る費用においては防犯事業として事業費補助金の対象
としております。